

NPO

FUKUOKA

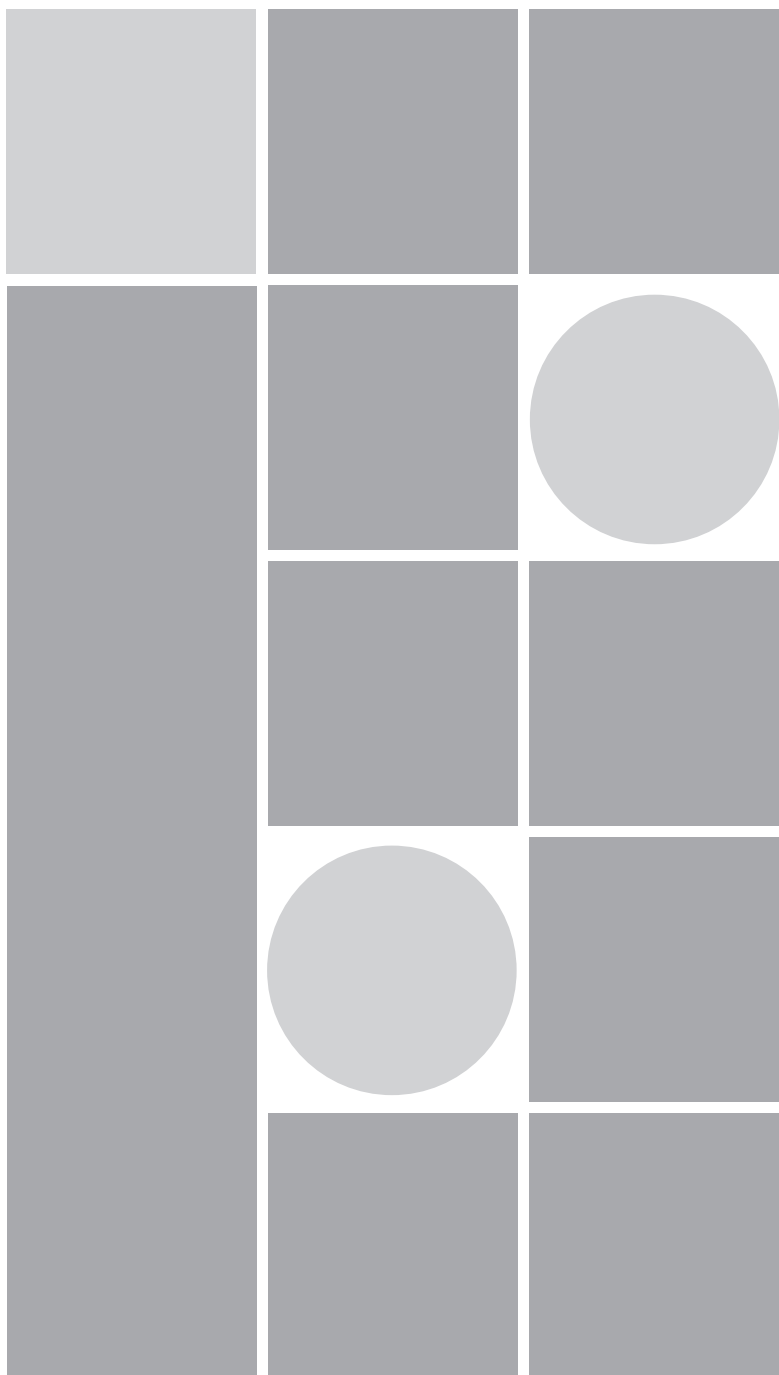
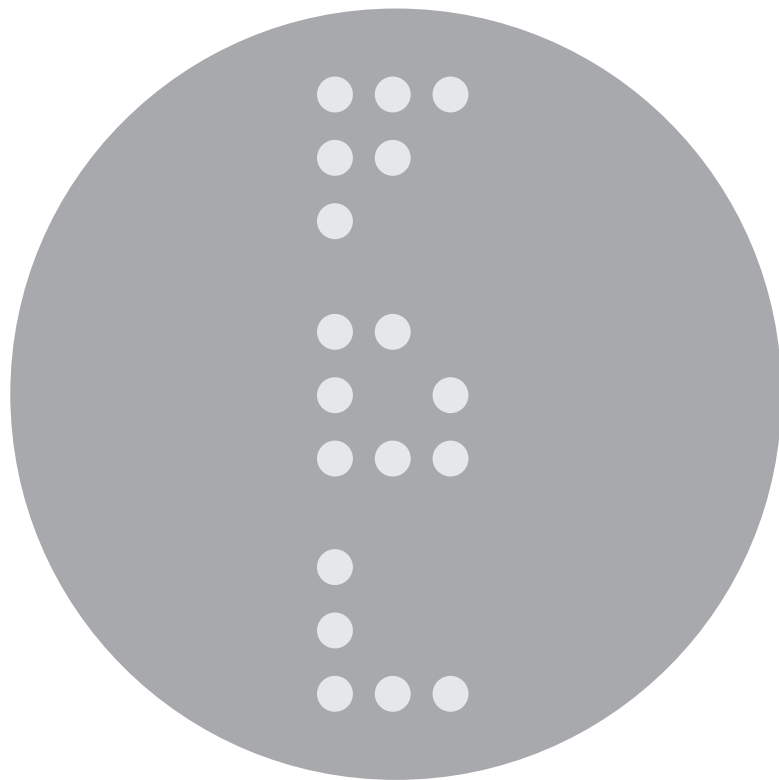
DESIGN

LEAGUE

ACTIVITIES

REPORT

2015



NPO FUKUOKAデザインリーグとは

FUKUOKAデザインリーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興を主な目的としてさまざまな活動を続けてきましたが、「デザインを経済のためだけでなく、社会の成熟のために活用するという大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。世界はいま環境問題や高齢化問題など、さまざまな課題を抱えています。デザインは、いまこそその力を企業や経済のためだけでなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKAデザインリーグでは、ひとりのデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会(デザイン都市)」の実現を目指します。

What is NPO FUKUOKA Design League?

Based on Fukuoka City's Design Center Project, the FUKUOKA Design League (FDL) was established in 1996 as a private organization. Subsequently, with its secretariat located at the Economic Promotion Bureau of the Fukuoka City, the organization developed a broad range of activities, mainly aiming at economic growth through design. In 2008, however, the FDL was reorganized as a specific non-profit organization in order to achieve the even bigger goal of utilizing design not only for development of the economy but also for the promotion of a mature society. The world today faces a wide variety of problems, including problems related to the environment and aged society problem. Now is the time to use design not only for companies and the economy, but also for the entire society and the people living in it. Combining all the efforts of those committed to design, the FUKUOKA Design League strives to tackle social challenges too big for one designer alone to solve, and to realize a society in which people can live a comfortable life (design city).

NPO FUKUOKA 디자인리그란

FUKUOKA 디자인 리그는 후쿠오카시의 디자인센터 구상을 바탕으로 1996년에 임의단체로 발족하였습니다. 당시에는 후쿠오카시 경제산업국 내에 사무국을 두고 "디자인으로 이뤄내는 경제진흥"이라는 목적과 함께 다양한 활동을 계속해 왔습니다만, 이후 "디자인을 경제적인 측면뿐만이 아니라 더욱 성숙한 사회를 만들기 위해 활용하자"는 대의적인 사명 아래, 2008년 특정 비영리 활동 법인으로 다시 시작하게 되었습니다.

세계는 지금 환경문제와 고령화 문제 등의 다양한 과제를 안고 있습니다. 따라서 지금이야말로 디자인의 힘을 기업과 경제, 그리고 사회와 시민을 위해 활용해야 한다고 생각합니다. FUKUOKA 디자인리그는 디자이너 개인으로는 하기 힘든, 사회적인 과제에 대응해 나가기 위해 모든 디자인 영역을 통합한 종합적인 힘으로 '시민이 풍요롭게 살 수 있는 사회(디자인 도시)' 실현을 목표로 하고 있습니다.

特定非営利活動団体 福岡デザインリーグ 究竟是?

福岡デザインリーグ(FUKUOKA Design League)成立于1996年,是以创立“福岡的设计中心”这个构想为蓝本而成立的自由团体。联盟成立后在福岡市经济产业局内设立单独事務局,秉着“用设计的力量振兴经济”为目的开展了各种活动。2008年开始,以新使命“设计不应是仅为经济服务,更应为了促进社会的成熟而活用”为目标,福岡デザインリーグ作为特定非営利活動団体再启动。现今世界各地都有着众多共通的社会课题,比如环境课题,老龄化社会课题。正是在这样的社会背景下,福岡デザインリーグ认为设计在为企业和经济发展服务的同时,设计的力量更应该活用于社会,活用于福岡市市民。以设计师个人力量无法解决的复杂社会问题,福岡デザインリーグ将会结合来自各个设计领域的综合设计团队来进行解决。为实现“市民能拥有美好丰富生活的社会(设计都市)”的目标,福岡デザインリーグ今后也将不断努力。

NPO FUKUOKAデザインリーグ 2015 活動報告

NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE ACTIVITIES REPORT 2015

NPO FUKUOKA 디자인리 2015 활동 보고서

特定非営利活動団体 福岡デザインリーグ 2015 活動報告



01

第8回
ユニバーサル
キャンプin九州
Universal Camp
in Kyushu
제8회 유니버설 캠프 in 큐슈
第8回 通用露營in九州

02

デザインカフェ
Design Café
디자인카페
设计咖啡

03

バリアフリーマップ
Barrier-Free
Information Map
베리어프리 맵
无障碍地图

04

福岡景観ガイドツアー
Landscape Guided Tour
of Fukuoka city
후쿠오카
경관가이드 투어
福岡景观导游

05

わくワーク館
デザイン提案
プロジェクト
Design project of
'Waku-Work house'
와쿠워크관 디자인제안
프로젝트
开心手工馆设计提案

06

ユニバーサル
カレンダー出版
Universal Calendar
유니버설 카렌다 출판
通用设计日历出版

07

デザイン
スクール
キャラバン
in 南当仁小学校
Design School Caravan
in MINAMI-TOJIN
ELEMENTARY SCHOOL
디자인 스쿨 캐러밴 in 미나미토우진 초등학교
学校设计志愿队in南当仁小学校

08

デザイン
インターンシップ
Design Internship
디자인 인턴십
设计实习

交流プロジェクト

EXCHANGE
PROJECT

교류 프로젝트 交流项目

第18回 福岡デザイン界
合同大望年会

FUKUOKA Design Industry
Joint "Dai-bonenkai"
제18회 후쿠오카
디자인업계 합동 대망년회
第18回福岡设计界
合同大望年会

09

10

ユニバーサル都市・福岡
デザインワークショップ
Fukuoka design workshop
유니버설 도시·후쿠오카 디자인 워크샵
全民城市福岡设计workshop

サポートプロジェクト <受託事業>

SUPPORT PROJECT
(Commissioned)

서포트 프로젝트 支援项目

九州デザインサミット
2015 in 福岡

Kyushu Design Summit
2015 in FUKUOKA
디자인이 큐슈와 세계를 연결.
현재와 미래를 이어주는 디자인.
九州设计峰会2015in福岡

11

育成プロジェクト
EDUCATIONAL PROJECT
육성 프로젝트 培养项目

パブリックプロジェクト<自主事業>

PUBLIC PROJECT



一緒に過ごすと見つかる
「たくさんのつながりと気づき」

第8回ユニバーサルキャンプin九州2015

日時:2015年10月31日(土) 会場:国営海の中道海浜公園 デイキャンプ場

2008年より開催しているユニバーサルキャンプin九州。老若男女、障がいの有無、国籍や文化の違いにかかわらず、多様性(ダイバーシティ)の視点に立ち、「みんなが一緒にいきいきと暮らせる社会」の実現を目指す交流イベントです。

今回で8回目となるキャンプは、初めてデイキャンプに挑戦しました。今までの1泊2日と変わらず、ものづくりやスポーツ、さらに食事の準備など多くのイベントをみんなで行いました。キャンプで出会う多様な人々と語り、行動を共にすることで、誰もがそれぞれに出来ること、出来ないことがある

ことに気づき、自然とお互いの特性を理解できる良い機会となりました。

スポーツイベントは、次のパラリンピックで正式種目になるという「ボッチャ」[※]を行いました。子ども、大人も一緒に楽しめるシンプルな競技です。昨年の経験者も多く、ルールを思い出し、楽しく体を動かしました。

食事では、バーベキューの具材を思い通り串刺しをし、個性豊かな食材となりました。竹を割った中にご飯を入れて炊いた白米は風味豊かで屋外ならではの名物メニューとして定着しました。

※「ボッチャ」とは:

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

担当者感想

初めてのデイキャンプでしたが、時間が短い分、気楽に楽しめるイベントになったように感じました。様々な人がワークショップやスポーツ、食事の準備などの「同じ体験」を共有することで、自分との違いが見えたり、また、同じ部分が見えたりすることで、お互いの理解が深まるのだと思います。さらに、海の中道海浜公園のような、海が目の前に広がる開放的な環境の中で楽しく過ごすことも、気持ちしが前向きになれる大事な要素だと感じました。[山田 貴史]

01

02



デザインカフェ

日時:2015年8月26日/2016年3月10日 18時30分～ 会場:九州大学大橋サテライト「ルネット」

講師:城後好孝氏/長尾朋貴氏

平成27年度は、平成27年8月と平成28年3月の2回の開催となりました。1回目は八女市で仏壇店を経営している傍ら、独自の理論に基いたスピーカーを制作している城後氏をお招きし、福岡県のデザインアワードを受賞したデザインのスピーカーを参加者が持参した音楽ソフトで視聴するという

初めての企画のカフェでした。2回目は長尾氏による「ひとりメイカーとしての足跡」でした。インハウスのデザイナー時代から独立し、手がけたプロダクトが福岡から東京、そしてニューヨークの近代美術館のショップに置かれるまでの足跡を分かりやすくプレゼンしてもらいました。

担当者感想

平成27年度は2回にとどまりましたが、それぞれ内容の濃いデザインカフェだったと思います。デザインの間口は広く、まだまだ話を聞くべき人が多くいらっしゃいますので継続していきたいと思っています。[照井 善明]

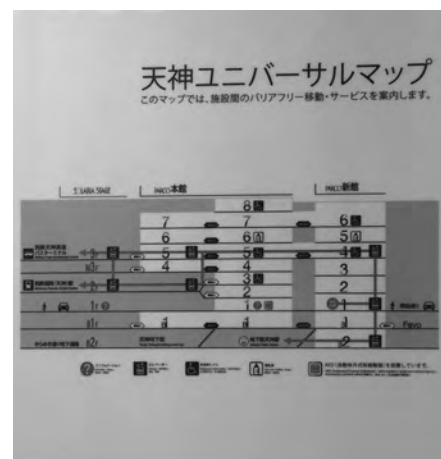
福岡のまちのUD化の促進

03

バリアフリーマップ調査 (タウンモビリティマップ)

日時:2015年3月5日(土)

天神・博多駅・川端エリアのバリアフリー情報(車椅子用トイレ、エレベーター、駐車場、ホテルのハンディキャップルームの有無など)を載せたタウンモビリティマップを発行しています。本年度はパルコなど新しい商業施設を中心に調査いたしました。新しい商業施設のUDは進んでいます。





歴史ある福岡の良さを再発見。

福岡景観ガイドツアー

◎赤坂山エリア／2015年6月6日(土)・7日(日) ◎唐人町・今川エリア／2015年10月17日(土)・18日(日)
◎西新エリア／2015年11月21日(土)・22日(日)

講師：照井 善明氏／水野 宏氏

美しい景観を実現するためには、何が美しいのかという価値観を共有する必要があります。そのためにデザイナーの視点からガイドするツアーを実施し続けています。今年度は、美しい景観のなかに歴史が息づいているエリアを選んでガイドを行ないました。新しいエリアを開拓することが、福岡の埋もれている歴史を発掘することになる。その面白さを担当者も味わっています。

◎赤坂山エリア 参加者 28名

古くは元寇古戦場で、福岡城築城後は城を支える馬方、弓射場、鷹匠の屋敷などがあつたところで勤王の志士ゆかりの地や黒田家三代目の嫡男が幽閉された森など、自然のなかに歴史が隠された地を案内しました。福岡市の都心に歴史的跡や、緑地が残っていることに、参加者は驚かれていました。

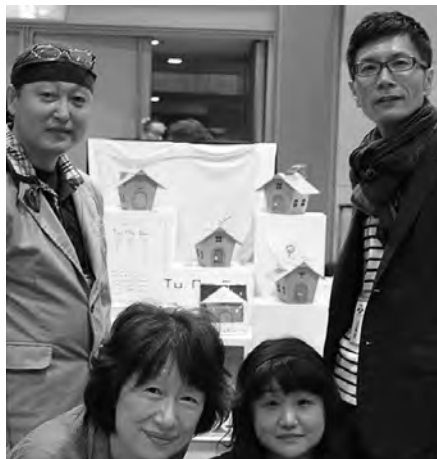
◎唐人町・今川エリア 参加者 19名

福岡城への西の入り口、黒門の前に位置し、城を守る砦となるように、お寺が集められた唐人町と、福岡城をつくった際に入江だった草ヶ江をお堀にしたため治水用に作られた川として名付けられ、足軽屋敷が配置されたまち、今川を案内しました。

◎西新エリア 参加者 33名

古くは元寇の古戦場、江戸時代は下級武士の宅地、紅葉八幡を中心とした旧唐津街道のまちなど多くの歴史的痕跡を留めながら、現在は学生のまち、あるいは西新商店街など生活のまちでもあります。西南学院大学博物館や元寇防塁跡地、猿田彦神、高取焼窯元など案内しました。

04



05

共に創る
売れるものづくり

わくワーク館デザイン提案プロジェクト

活動期間：2015年4月～2016年3月

木工製品の製作を中心に活動している就労支援事業所「NPO法人 わくワーク館」からの依頼を受け、商品開発や販売支援を行ないました。

2014年度から着手していた新商品を今年度は新しいブランド「TuNaGu(つなぐ)」としてリリース。第17回福岡デザインアワードに出展し入賞しました。今回の受賞商品

はこれまで、わくワーク館で蓄積した技術やデザインなどを継承させつつ、リデザインさせたもので、そういった商品が評価されたことは、わくワーク館、それからプロジェクトメンバーにとって自信につながる結果となりました。このブランド展開を広げていく方向で来年度も継続的に事業を実施していく予定です。

担当者感想

色々な立場の人たちがものづくりを通して社会に参加する、社会貢献するといった理念を掲げている、わくワーク館さんの活動は共感する点が多く、また今回のプロジェクトもその理念に貢献する活動であると考えています。次の商品開発、販路開拓などひとつひとつ課題に取り組みながら継続的にサポートしていきたいと考えています。[長尾 朋貴]

誰の目にも 優しいカレンダー

06



ユニバーサルカレンダー出版

2015年度より、白黒反転したカレンダーを出版しています。これは当法人の廣瀬理事が病気をし、視力に障害が出た自身の経験から発案され、デザイナーと開発しました。視力が弱くなると、白地に黒い文字は、白の反射率が高く、文字を認識しづらくなるため、黒地に白の細身の数字で反射率を抑え

認識しやすくしています。

白黒反転したこのカレンダー。目が見える人も視力が弱い人も違和感なく使えるよう無駄を省き、認識しやすい文字でシンプルにしています。視力は、障害だけではなく、年を重ねた老眼の方にも関係します。誰の目にも優しいカレンダーとなりました。

担当者感想

カラフルでかわいいものや、美しい写真のもの、その他魅力的なカレンダーがたくさん市場にあふれていますが、弱視の方には様々な要素がノイズになり見えにくさにつながってしまう事を知りました。要素を削ぎ落としながらも独自の価値をもつユニバーサルなカレンダーとしての表現を追求していきたいと思います。[計盛 政利]



一度行きたい！ みらいのまち～南当仁共和国～

07

デザインスクールキャラバン2015 in 南当仁小学校

日時：2015年11月30日(月)8:40～16:00 会場：福岡市立南当仁小学校

講師：DSA九州支部／JAGDA福岡地区／JCD九州支部／JIA九州支部福岡会／SDA九州地区 等団体会員34名

今年は授業実施の5ヶ月前から学校側と打合せを始め、5年生の担任の先生と共にテーマを考えてきました。今年のテーマは「一度行きたい！みらいのまち～南当仁共和国～」です。子ども達にも身近な南当仁小学校校区をモデルにコンパクトシティの考えのもとデザイン授業を試みました。コンパクトシティとは生活に必要な機能(緑や農地、産業施設やレジャー施設等)が、効果的で相乗的な持続可能な都市の事

を言います。ちょっと子ども達には難しそうなテーマですが、自分たちのまちを共和国と見立て、自然エネルギーサイクルをつくり、そのエネルギーを使った環境に優しい乗物や住まい、みんなが食べる野菜を育てる農地、大濠公園を利用したグリーンパークなど人々が豊かに、永続的に暮らせる理想のまちを作り上げる事が出来ました。完成した模型は、小学校で行われる造形作品展展示会の目玉として展示されました。

担当者感想

11月20日には子ども達を体育館に集めて今回のテーマについて1時間ほど事前授業を行いました。事前授業後は各チームに別れ、準備したアンケートに添って「デザイン」と「コンパクトシティ」について議論してもらいました。テーマについて理解をした子ども達の発想は講師陣の想像を超え、驚かされる事が多く、また、授業後にもアンケートを実施し、子どもたちのデザインに対する意識の変化を確認することが出来ました。[原 正俊]

現場で学ぼう!学生たちの夏の挑戦

デザインインターンシップ2015

インターンシップ期間:2015年8月~9月

2003年度より、デザイナーを志す大学・専門学校
の学生を対象に、デザインの現場を体験するための「デザインインターンシップ
マッチング事業」を行っています。以下実習
レポートより一部抜粋(受入先/在校名)
・建築専攻ではない私、初めて建築設計事
務所スピンガラス・アーキテクツでインター
ンシップを体験しました。特に感動したのは
皆様の仕事と建築作品に対する熱い思い
です。この先、同じデザイナーを目指してい
る私も事務所の皆様のような情熱でデザ

インの仕事と付き合おうと思う。(スピンガラ
ス・アーキテクツ/九州大学芸術工学部デ
ザインストラテジー専攻修士1年生)
・実際の住宅計画を体験させていただきま
した。プランニングや納まりを考え、打合せ
をすることで、徐々に自分の案が形になっ
ていくのはとても有意義な体験になりました。
今後の学生期間において今まで以上に努
力し様々なことに興味を持ち、理解を深め
ていきかけになったと思います。(田島
正陽建築事務所/麻生建築&デザイン専

門学校1年生)

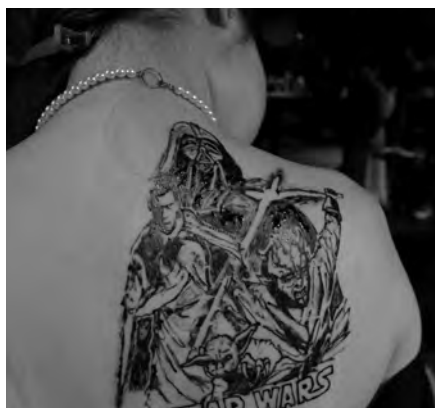
・5日間の実習を終えて建築とは何か、住む
ということはどういうことか、改めて考えさせ
られました。課題で住宅の外観をつくる機
会がありましたが、私のつくった作品はとて
も単純で目を惹くものではありませんでした。
事務所の方にレクチャーを受け、建物の
構成や色、素材の使い方、デザインの意
味を学ぶことができました。(環境デザイン
機構/麻生建築&デザイン専門学校1年
生) 参加企業:9社 参加学生数:13名

09 Let's 飲みニケーション!

第18回 福岡デザイン界合同大望年会

日時:2015年12月8日(火) 会場:J.nakasu.ONO(中洲gates3F)

ゲスト:AYANO(ボディーアート)



18回目を迎える福岡デザイン界の合同大望年会。昨年から大人数を収容出来る中洲Gatesに会場を移し、今年もDJによるイカした音楽やアーティストAYANOちゃんのボディーアート実演、恒例の大抽選会など盛りだくさんのイベントで総勢160名が大いに盛り上がりました。福岡デザイン界の一年を楽しく締めくくるとともに、来年へ向けてより一層の飛躍を感じさせる望年会となりました。オープニングには福岡ソフトバンクホークスの王貞治会長より「福岡をみんなで盛り上げましょう!!」とメッセージをいただきました。

担当者感想

毎年、目標とする参加人数が集まるかドキドキですが今年も多くの方に参加頂きホッとしています。今年も大盛り上がりで楽しい望年会になりましたが、オープニングムービー制作やイベント企画等、実は準備段階が楽しいんですよ。みなさんも来年は是非実行委員として参加してみてください。もれなくスタッフTシャツがもらえますので(笑) [梅本 幸治]

10

福岡発信の「食」の
ユニバーサルデザイン



知的好奇心の探求

ユニバーサル都市・福岡デザインワークショップ2015

日時:2015年10月3日(土)~4日(日) 会場:九州大学大橋キャンパス ワークショップスペース

アドバイザー:九州大学大学院 芸術工学研究院 教授 平井 康之氏
NPO法人FUKUOKAデザインリーグ 副理事長 定村 俊満氏

専門家:福岡県屋台組合 広報担当 藤井 良輔氏

屋台屋ぴょんきち大将 太田 哲英氏

福岡地所株式会社 キャナルシティ博多事業部 山崎 康平氏

観光アドバイザー 金 戊丁氏



近年海外からの観光客が増える一方です。この背景の中で2015年のユニバーサル都市・福岡のデザインワークショップは飲食店のユニバーサルデザインに注目しました。来日する外国の方にとって、どのような課題があるか、どのように解決すれば良いか具体的な提案を行い、様々な飲食店が展開しやすい、福岡発

信のおもてなしをデザインしました。

外国人、デザイナー、飲食関係者、学生がチームを作って、飲食店にフォーカスしたユニバーサルデザインのあり方を探り、具体的に屋台で使う4ヶ国語メニュー付きのメッセージ帳とサービスマニュアルを開発しました。

担当者感想

このデザインワークショップを通じて、たくさんの気づきやアイデアが得られましたが、予算や時間の関係で、今年はその中の2つに絞って具現化展開しました。今後、展開したデザインアイテムのフィードバックを得てさらにより良いものを提案したいと思います。また、今年度展開できなかったアイデアを機会を作って展開していきたいです。[張 芳彦]

11

デザインが
九州と世界を結ぶ
いまと未来を
つないでいく



海外展開におけるデザインと知財のあり方をさぐるシンポジウム

九州デザインサミット2015 in 福岡

日時:2016年1月22日(金) 会場:福岡市男女共同参画推進センターアミカス

主催:特許庁、九州経済産業局、九州知的財産活用推進協議会、九州デザインネットワーク、NPO法人FUKUOKAデザインリーグ
後援:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、熊本市、西日本新聞社

講師1:山田晃三氏 株式会社 GKデザイン機構 代表取締役社長

講師2:日高一樹氏 ビジネスデザイン・知的財産権ストラテジスト

講師3:渡部英子氏 有限会社 小倉クリエーション 代表取締役社長

■パネルディスカッション

コーディネーター:清須美匡氏 九州大学大学院芸術工学院教授

パネラー:講師3名+定村俊満氏 NPO FUKUOKAデザインリーグ副理事長

地域産業の発展に欠かせないもの。そのひとつに、「デザイン」と「知財」があります。特に、グローバルな事業展開を考えた場合、その重要性はさらに高まります。海外に商品やサービスを提供する。企業自体の魅力を発信していく。そのとき「デザインと知財」をどう活用し、どのように戦略に組み込めばいいのか。

「海外のデザイン事情」をはじめ「海外展開に向けてデザインの視点からイノベーションに取り組んだ事業」や「海外展開における知財戦略の活用」「デザインをととした海外との連携や交流」など、取り上げる事例もさまざま。後半のパネルディスカッションは、参加者からの質問が多く、大変活況なうちに終了しました。

本当に魅力あるものは、海を越える。さまざまな国の人々に届き、地域と世界を結ぶ。だから、九州の一番は、世界の一番になる可能性を秘めている。九州のデザインが世界に向けて起こす新たなムーブメントを期待しています。



山田晃三氏は、デザイン知財の歴史的背景や代表作キッコーマンをはじめとするブランディング戦略、海外進出の功罪、およびご自身のデザイン感などを多岐の事例を提示してたいへんわかりやすくお話してくださいました。デザインの力がクリエイティブ分野だけでなく経営を含めて多岐にわたり発揮しうるものだということを改めて実感しました。



日高一樹氏には、デザイン知財における第一人者ならではの豊富な事例をもとに、表に出にくい事例も多数お話しいただきました。ビジネスにおいての知財の重要性をチャンスとリスク両面からわかりやすく提示。問題の解決において、デザイナーや弁理士に判断を委ねる経営者の多さを指摘。当事者意識や覚悟の大切さを度々語られ、多くの聴衆が同意したようでした。



渡部英子氏には、伝統的な小倉織を復活させた経緯から、現代のライフスタイルにあった商品群の開発のストーリー、そして現在の国内外ブランドとのタイアップのお話をいただきました。福岡県産業デザイン賞(現・福岡デザインアワード)大賞を皮切りに、グッドデザイン賞をはじめ内外から高い評価を受けているブランドらしい有意義なお話でした。

あとがき

2015年度のNPO FUKUOKAデザインリーグの活動は、様々な意味で転換期にあったと言えます。一つは、前年度からの課題としてNPOの財政基盤を改善し、会費以外の収入源を作ることが喫緊の課題でした。委託事業において、NPOも多組織と同じ様に競争や入札という環境に置かれ、受注する状況が、厳しくなっています。やはりNPOとしての独自色を出し、的確な活動の広報も重要だと思います。

もう一つは、現状の打開として、九州各地の組織との連携があげられます。その成果が「デザインサミット」であり、来年度も初の補助事業として活動が継続されます。今後も、FDLの主旨に合致した活動を補助事業あるいは、公募事業を通して実現するという道を模索しなければならないと思います。

これらの点から、2015年は、次の段階への第一歩であったと思います。

NPO FUKUOKAデザインリーグ 副理事長 佐藤 俊郎



NPO FUKUOKA デザインリーグ会員

(2015年3月31日現在)

■団体正会員■

(公社)日本建築家協会九州支部福岡会(JIA)
(公社)日本グラフィックデザイナー協会福岡地区(JAGDA)
(公社)日本サインデザイン協会九州地区(SDA)
(一社)日本商環境デザイン協会九州支部(JCD)
(一社)日本空間デザイン協会九州支部(DSA)
九州アートディレクターズクラブ(K-ADC)
(公社)日本インテリアデザイナー協会(JID)
福岡県産業デザイン協議会
麻生建築&デザイン専門学校
九州デザイナー学院
日本デザイナー学院
福岡デザイン専門学校
株式会社ジーエークレアス
株式会社環境デザイン機構
(公社)=公益社団法人
(一社)=一般社団法人

■個人正会員(50音順)■

阿武 寿志	内田 正宏	鬼塚 淳子
加瀬 仁人	川崎 泰秀	岸本 泰洋
木下 浩市	金 戊丁	坂元 成人
嶋本 和夫	正田 美加	張 彦芳
高上 旭	照井 善明	長尾 朋貴
長峰 栄子	萩原 武治	橋爪大輔
廣瀬 正人	藤田 豪太郎	松山 真介
椋本 敏行	吉田 寛史	

■団体賛助会員■

株式会社正興電機製作所
株式会社ステッカートレーダージャパン
社会福祉法人未来駅
福岡インテリアコーディネーター協会(FICA)
(公社)日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)

■個人賛助会員■

北川 千枝 北村 里美 近藤 富美
田中 亮二 樋口 敬 宮崎 琢実

■学生賛助会員■

広渡 千春

■名誉会員■

水口 敬司(平成20～22年度理事長)

■役員■

理事長 渡辺 顯好

副理事長 定村 俊満 佐藤 俊郎

専務理事 廣瀬 正人

理事 椋本 敏行

大庭 香代子

水野 宏

中牟田 麻弥

熊野 学

伊場 芳朗

照井 善明

深町 俊彦

川崎 泰秀

森重 正治

長峰 栄子

兒島 正明

板野 仁志

吉永 文治

大久保 映介

武永 茂久

正田 美加

監事



特定非営利活動法人
FUKUOKAデザインリーグ
〒815-0033
福岡市南区大橋1-3-27
九州大学大橋サテライト内
TEL: 092-551-0825
FAX: 092-405-0825
Email: fdljimu@f-design.gr.jp
URL: www.f-design.gr.jp

特定非営利活動法人
FUKUOKAデザインリーグ
2015活動報告

2016年9月発行

編集 : 岡 真由子
翻訳 : 金 戊丁
張 彦芳

デザイン : 計盛 政利